

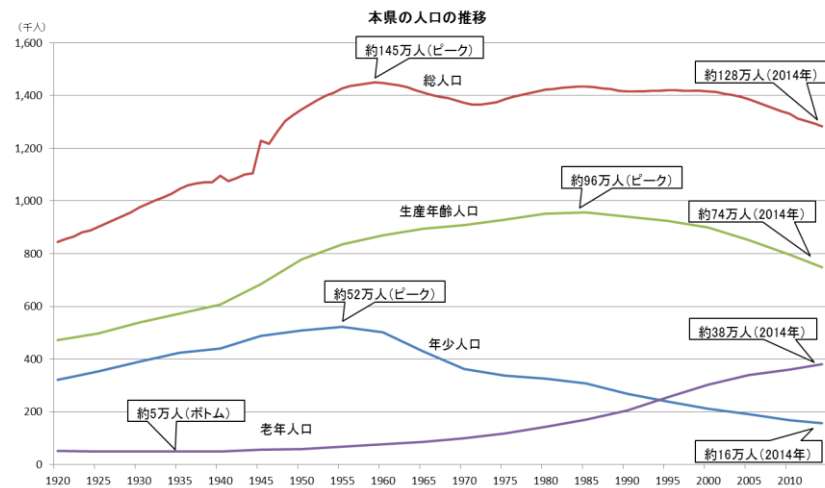
岩手県における人口の現状と分析

○岩手県の人口の現状

1 長期的な人口の推移

・岩手県の人口は1997年以降減少し続けています。

(図1)

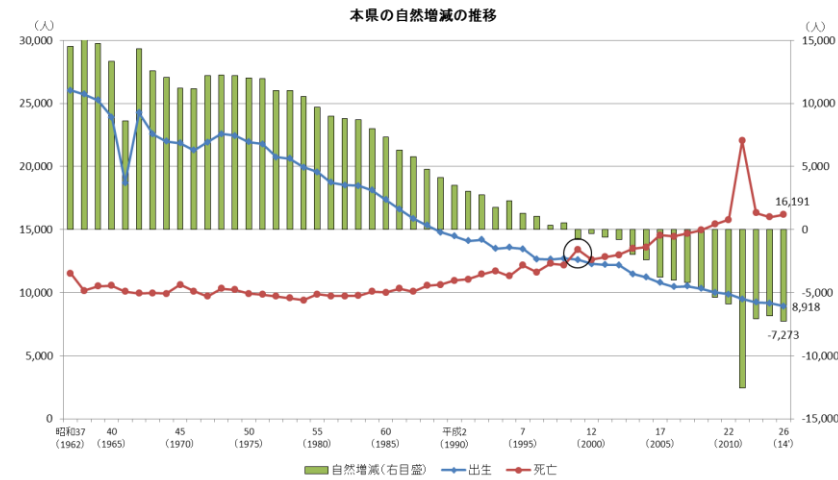


出典:総務省統計局「国勢調査」「人口推計」

2 人口減少のメカニズム(自然減)

・1999年以降、死亡数が出生数を上回る「自然減」の状況にあり、若年女性の減少と出生率の低迷が原因となっています。
 ・出生率低迷の背景には、未婚化・晩婚化の進行があります。

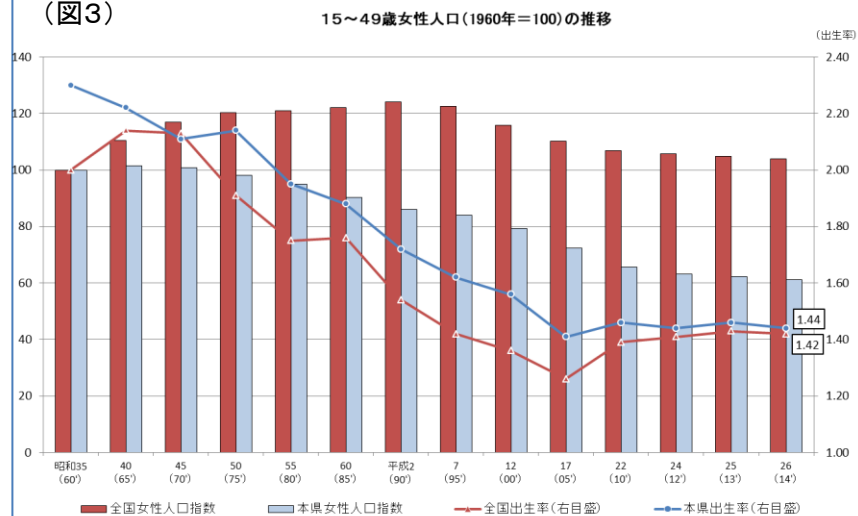
(図2)



出典:岩手県「岩手県毎月人口推計」

・若年女性は、全国的には減少していませんが、岩手県では減少し続けています。
 ・合計特殊出生率は、1.44と人口置換水準を割り込んでいます。

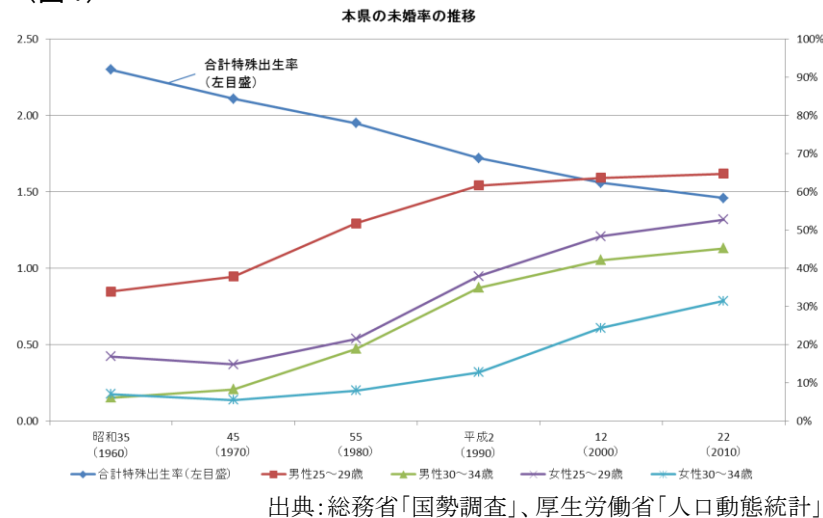
(図3)



出典:総務省「国勢調査」「人口推計」、岩手県政策地域部「岩手県毎月人口推計」、厚生労働省「人口動態統計」

・男女とも、未婚率が上昇しています。
 ・特に男性の未婚率が高く、29歳までは6割、34歳までは4割を超えています。

(図4)

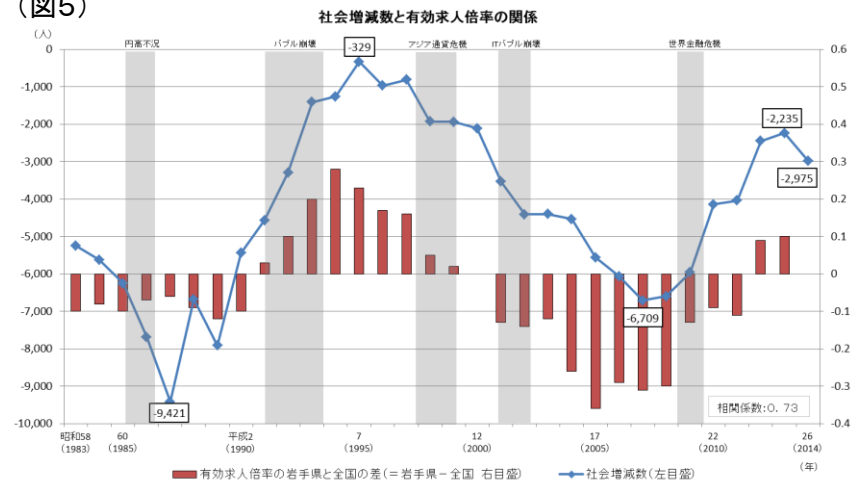


出典:総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態統計」

3 人口のメカニズム(社会減)

・人口の社会減は、雇用情勢と関係が深く、本県の有効求人倍率が全国平均を上回ると社会減が縮小し、全国平均を下回ると社会減が拡大する傾向があります。

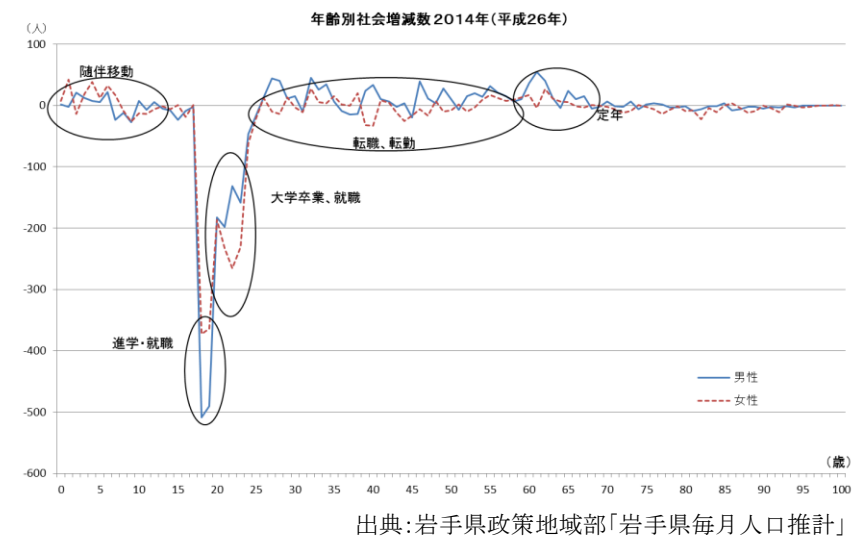
(図5)



出典:岩手県政策地域部「岩手県毎月人口推計」、厚生労働省「一般職業紹介状況」

・人口の社会減は、進学期、就職期の若者の転出による影響が大きく、特に就職期の女性の転出が多くなっています。

(図6)



出典:岩手県政策地域部「岩手県毎月人口推計」

○人口減少に伴う課題

1 地域経済への影響

生産年齢人口の減少により、労働力不足と生産量(生産高)の低下が懸念される。

2 地域医療、福祉・介護への影響

後期高齢者の増加により医療、福祉・介護の需要増加が見込まれる一方、人材流出も懸念される。

3 教育・地域文化への影響

児童・生徒の減少により、学校教育や地域の文化継承への影響が懸念される。

4 地域公共交通への影響

利用者の減少に伴う経営上の影響が見込まれる一方、高齢者の増加により必要性が高まると見込まれる。

5 地域コミュニティへの影響

過疎と高齢化の進行により、共助機能の低下が懸念され、補完の必要性が高まる。

6 県・市町村の行財政への影響

経済規模が縮小した場合、税収減と財政の硬直化が懸念される。

【問い合わせ先】

岩手県庁 政策地域部
 政策推進室 政策担当
 TEL 019-629-5508
 FAX 019-629-5254
 E-mail AA0001@pref.iwate.jp